

平成18年度中間決算概要（単体情報）

経営成績



平成18年度中間期は、貸出金の増加とともに貸出金利回りが改善したことや、保有する債券の入れ替えを進め有価証券利回りが改善したこと、投資信託や個人年金保険といった金融商品販売が順調に拡大し役務取引等利益が大幅に増加したことなどにより、本業の儲けを示す単体ベースのコア業務純益は133億円となりました。経常利益は114億円、中間純利益は67億円となり、コア業務純益、経常利益、中間純利益とも中間期としては過去最高益となりました。

当行では、経営環境が大きく変化し、情報量が加速的に増加していく中、IT戦略の基本となる情報伝達のブロードバンド化の必要性から情報処理能力の拡大、リスクの軽減、セキュリティの確保を目的に、基本インフラとして「光ファイバー」網の構築を2年前に行いました。その結果、ITの戦略的活用が可能となり、「収益管理システム」、「総合融資支援システム」、「住宅ローン支援システム」、「投資信託販売支援システム」を稼働させることができ、本中間期の決算発表も10月中に行うなど、業務効率化とともに営業力の強化を実現しています。今後につきましても、お客様の視点に立った利便性と安全性のさらなる追求のため、次なるテクノロジーの進歩に合わせて大胆な変革を推し進め、積極的に業務革新を行ってまいります。

主な経営指標の推移は以下の通りです。

◎ 主な経営指標の推移

（単位：百万円・千株・人・％）

	平成16年9月期	平成17年3月期	平成17年9月期	平成18年3月期	平成18年9月期
経常収益	32,522	66,086	35,062	68,060	35,226
業務純益	15,141	29,021	11,635	25,629	11,568
コア業務純益	12,488	25,870	12,553	26,112	13,334
経常利益	10,810	20,605	8,563	21,999	11,492
中間純利益	6,041	—	4,825	—	6,769
当期純利益	—	11,468	—	12,691	—
資本金	49,759	49,759	49,759	49,759	49,759
発行済株式総数	290,855	290,855	290,855	290,855	290,855
純資産額	132,768	143,898	147,557	150,436	159,321
総資産額	2,853,837	2,848,703	2,906,471	2,923,422	2,928,308
預金残高	2,645,842	2,630,538	2,675,761	2,667,700	2,696,342
貸出金残高	1,909,475	1,920,481	1,929,318	1,956,242	1,961,676
有価証券残高	683,319	734,053	775,903	802,626	793,114
単体自己資本比率（国内基準）	9.88	10.30	10.66	11.06	11.44
従業員数	1,960	1,900	1,906	1,838	1,883

（単位：円・％）

	平成16年9月期	平成17年3月期	平成17年9月期	平成18年3月期	平成18年9月期
一株当たり純資産額	461.65	497.11	509.11	518.65	549.41
一株当たり配当額	2.50	5.50	3.00	6.50	3.50
一株当たり中間（当期）純利益	21.00	39.62	16.66	43.56	23.34
配当性向	11.90	13.88	18.00	14.92	14.99

● 利益配分について

当行は、銀行業としての公共性に鑑み、お客様や地域社会への信頼にお応えするために、健全経営と内部留保の充実に努めますとともに、ステークホルダーへの適切な配分を行うことを基本方針としています。

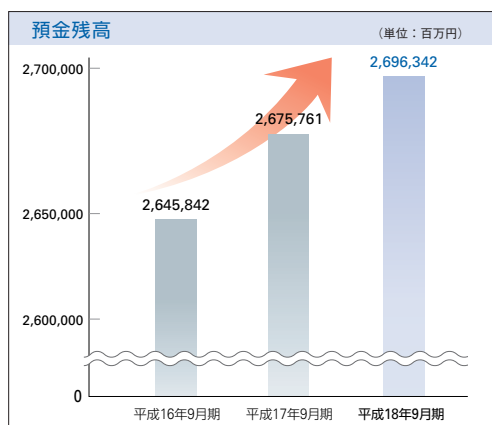
平成18年9月期の配当金については、1株当たり3円50銭と前中間期に比べ50銭の増配を行いました。

単体自己資本比率は、11.44%、資本金・剰余金などの本来の自己資本であるTier1比率（基本的項目）は10.43%となっており、国内基準の4%を大きく上回っています。

また、内部留保資金については、積極的な店舗投資やIT投資を継続して行い、お客様へのサービス向上を図るとともに、経営基盤の拡充や経営体質の強化のため有効に活用していきたいと考えています。

営業の概況

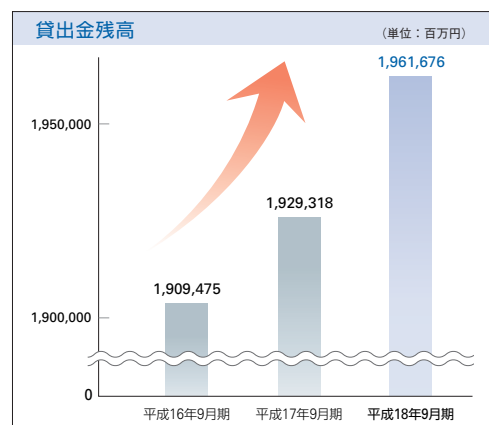
● 預金について



預金残高は順調に推移し、当中間期末残高は2兆6,963億円となり、平成18年3月末に比べ286億円増加しました。一方、個人預金は269億円増加し2兆2,449億円となり、総預金に占める個人預金の割合は、83.2%となりました。

また、個人向け国債や投資信託、個人年金保険等の金融商品販売も極めて順調であり、個人預り資産残高は平成18年3月末に比べ556億円増加し、3,473億円となりました。

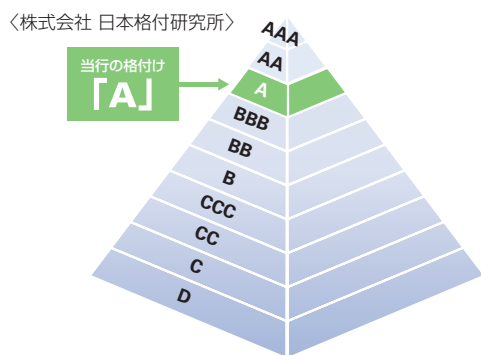
● 貸出金について



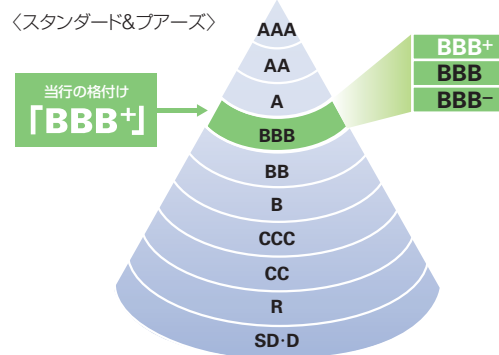
住宅ローンを始めとする個人ローンを積極的に推進するとともに、スコアリングを活用した中小企業向け無担保ローンを中心に地域の中小事業者への円滑な資金提供を進めた結果、貸出金残高は平成18年3月末に比べ54億円増加し、1兆9,616億円となりました。

● 格付け機関による当行の評価

株式会社 日本格付研究所 (長期優先債務格付け) の格付けは、「A」です。世界三大格付け会社のスタンダード&プアーズ (長期カウンターパーティ格付け) とフィッチ・レーティングス (長期信用格付け) の格付けは、それぞれ「BBB+」となっています。



AAからBまでの格付け記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、「+」もしくは「-」の符号による区分があります。



AAからCCCまでの格付けは「+」記号または「-」記号を付加することがあり、それぞれ、各カテゴリ内での相対的強さを表します。

(平成18年9月30日現在)

用語解説

格付け

株式会社日本格付研究所やスタンダード&プアーズなど、第三者の格付け機関が、銀行や企業の「安全度」をアルファベットを使って表したものです。銀行の選定や企業へ投資をする時の参考指標の1つとされることがあります。

長期優先債務格付け

長期優先債務 (債務の弁済順位において他の一般債務よりも劣後しない長期の期限付き債務) の履行の確実性について、現時点での評価を示すものです。

長期カウンターパーティ格付け

長期カウンターパーティ格付けは、発行体格付け (債務者が債務を履行する総合的な能力 (信用度) について、現時点での評価を示すもの) の一部。長期の信用度を表します。

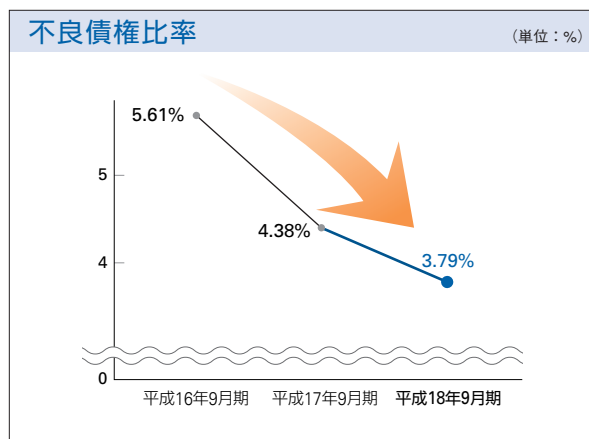
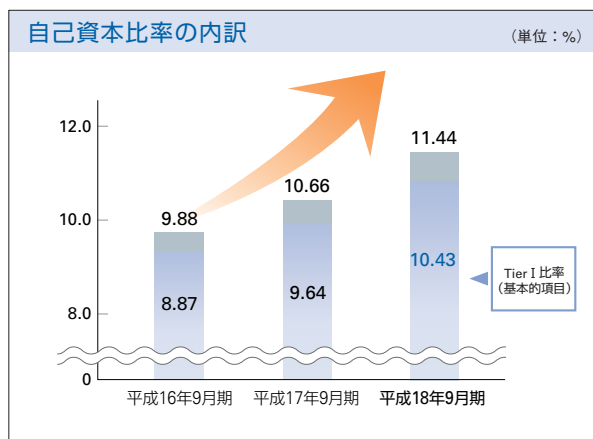
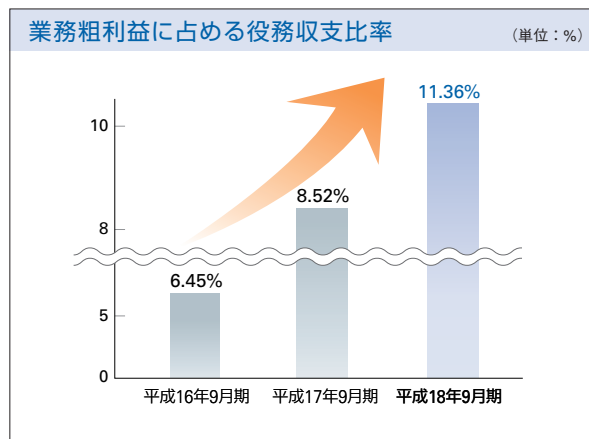
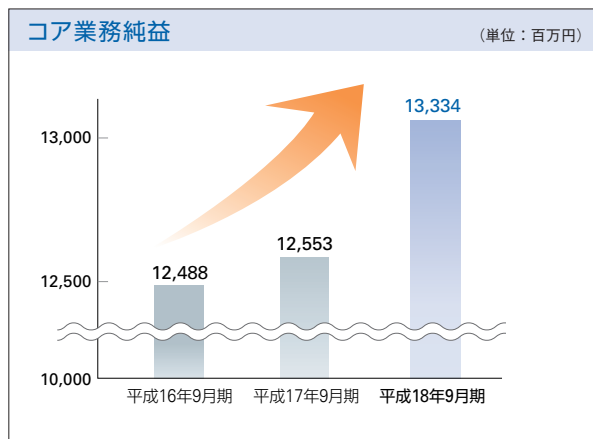
第12次中期経営計画の進捗について

第12次中期経営計画に掲げた施策については順調に進捗しており、平成18年9月期はコア業務純益、経常利益、中間純利益ともに過去最高益を更新し中間期としては過去最高益になりました。同計画の締め切りとなる平成19年3月期は、この計画に掲げた諸施策をすべて実現することにより、今まで築き上げてきた地域のお客様からの信頼をさらに深め、新時代に対応する「総合的資産運用提案型」ビジネスモデルの完成を目指していきます。諸施策の進捗については以下の通りです。

◎第12次中期経営計画「α New STAGE 2007」の計数計画の推移

項目	内容	単位	平成18年9月実績	平成19年3月計画
コア業務純益	業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－債券5勘定戻	百万円	13,334	27,000
中間(当期)純利益		百万円	6,769	13,000
自己資本Tier I 比率	自己資本比率の基本的項目	%	10.43%	10.5%程度
ROE(資本利益率)	中間(当期)純利益／純資産(期中平残)	%	9.29%	8.5%以上
ROA(総資産利益率)	中間(当期)純利益／(総資産(平残)－支払承諾(平残))	%	0.46%	0.5%程度
不良債権比率	金融再生法基準による開示債権額／総与信	%	3.79%	3%台
OHR(経費対粗利益率)	経費(臨時的経費を除く)／コア業務粗利益	%	55.46%	55%程度
業務粗利益に占める役員収支比率	役員収支／業務粗利益	%	11.36%	10%程度

※中間期での目標は定めていないので、計画と実績を比較していません。



用語解説

コア業務純益とは？

業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－債券5勘定戻
債券5勘定戻とは国債等債券の損益のこと。

Tier I 比率とは？

資本金・剰余金等の中核的自己資本のことで、実質的な財務内容の健全性を表す指標。比率が高いほど、健全性が高まります。劣後ローン、土地の含み益等は含まれません。

役員収支とは？

受入手数料等の収支のこと。

地域密着型金融推進計画の進捗について

地域密着型金融のさらなる推進を目指し、平成17年8月、「地域密着型金融推進計画」を策定・公表し、推進しています。この「地域密着型金融推進計画」と「第12次中期経営計画」は相互に密接に結びついており、「第12次中期経営計画」の推進は、すなわち「地域密着型金融推進計画」の推進を実現するものです。

同計画に関する平成17年4月1日から平成18年9月30日までの主な取組み事項は、以下の通りです。

◎ 数値目標に対する平成17年4月から平成18年9月までの実績等

目標項目	2年間の計画 期間中の数値目標	平成17年4月～18年9月		
		目 標	達成率(実績)	
① 創業・新事業支援関連融資の取組み	200件以上	150件以上	138.7% (208件)	
② ベンチャー企業の営業店への紹介	60社以上	40社以上	107.5% (43社)	
③ αBANKビジネスクラブ主催セミナー開催	20回	15回	140.0% (21回)	
④ ビジネスマッチング情報の提供	360先	260先	227.3% (591先)	
⑤ 債務者数に対する管理対象先抽出率	2%以上	—	年度目標を設けておりません。* (2.9%)	
⑥ 再生支援取組先数に対するランクアップ率	10%以上	—	年度目標を設けておりません。* (16.0%)	
⑦ 中小企業再生支援協議会への案件持込み	5先以上	—	年度目標を設けておりません。* (9先)	
⑧ スコアリングを活用した無担保融資の実行	400億円以上	300億円以上	203.3% (610億円)	
⑨ 金融コンプライアンス・オフィサー資格の取得率	75%以上	—	年度目標を設けておりません。* (75.6%)	
⑩ 金融個人情報保護オフィサー資格の取得者	300人以上	230人以上	271.7% (625人)	
⑪ 65歳以上先へのダイレクトメールの送付	8万件以上	5万4千件以上	142.5% (76,929件)	
⑫ 65歳以上先へのテレマーケティングの実施	4万件以上	2万7千件以上	122.4% (33,059件)	
⑬ 住宅取得者相談会の開催	100回以上 (500人以上)	70回以上 (350人以上)	262.5% (184回) 300.9% (1,053人)	
⑭ 県内住宅開発案件の獲得	200件以上	150件以上	95.3% (143件)	
⑮ 住宅業者説明会の開催	190回以上 (950人以上)	140回以上 (700人以上)	171.4% (240回) 197.3% (1,381人)	
⑯ 資産運用相談員の任命	200名以上	—	年度目標を設けておりません。* (103名)	
⑰ 年金相談会開催	平日相談会 休日相談会 休日セミナー	1,440回 100回 24回	1,080回程度	103.4% (1,117回)
			75回程度	146.7% (110回)
			18回程度	100.0% (18回)
⑱ 返済相談会開催(うち、休日相談会)	100回(10回) 以上	74回(7回) 以上	148.6% (110回) 100.0% (7回)	
⑲ PFIへの取組み	平成17年度 平成18年度	2件以上 2件以上	—	年度目標を設けておりません。* (3件)

*印は年度目標を設けていないので、達成率は表示せず、実績のみ表示をしています。

100%

なお、上記内容の詳細については、当行ホームページにおいて公表しています。

京葉銀行ホームページアドレス <http://www.keiyobank.co.jp>

地域のベストバンクを目指して

●店舗建替えのコンセプト

京葉銀行では5つのコンセプトにより「お客様に便利でやさしいお店づくり」をテーマに店舗の建替えを行っています。

具体的には、

1. 「先進技術で、大きな安心を」提供する「指静脈認証システム」採用の全自動貸金庫の設置
2. 「どなたでも、どこでも、むりなく」ご来店いただけるよう、通路・トイレはバリアフリー対応
3. 「より気持ちよく、より安心して」ご利用いただけるATMコーナー
4. 「気軽に、ゆっくり、ご相談」いただける、個別ブースの相談コーナー
5. 「ひろびろ、ゆったり、安心」な店舗前面の駐車場

3月にオープンした蘇我支店、松ヶ丘支店につきましては、いずれも6月に店舗前面に広い駐車場が完成しました。

※ 視覚障害者対応ATMを以下の10店舗に設置しています。

(五井支店、成田西支店、新習志野支店、稲毛支店、蘇我支店、松ヶ丘支店、新浦安支店、千葉ニュータウン支店、松戸支店、うすい支店(平成18年12月末現在))



蘇我支店



バリアフリー対応の通路



個別相談コーナー

●リニューアルオープンと今後の店舗展開

当行では、お客様によりご満足いただけるよう、松戸支店(松戸市)と、千葉ニュータウン支店(印西市)の建替えを行いました。いずれも平成18年12月に開店しました。

また、つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅西口の一画において店舗出店用地を取得しました。最新の設備を導入した店舗とします。さらに今後も県北西部地域等の開発が進んでいる地域へ店舗網の充実を図っていきます。



松戸支店 完成予想図

松戸支店は現店舗と同一敷地内にて12月11日に開店しました。

※駐車場は整備のため平成19年6月頃完成予定です。



千葉ニュータウン支店

千葉ニュータウン支店は駅北口の駅前ロータリーの一画にて12月4日に開店しました。

●貸金庫設備について

お客様のセキュリティに対する関心の高さにお応えするため、平成18年度上期は貸金庫を矢切支店(240函)、新浦安支店(1,016函)で増設しました。

貸金庫のご利用時間は、一部の店舗を除きまして、
平日8:45～18:00の間、
ご契約をいただいておりますお客様に、一日何度でもご利用いただけます。

(土・日・祝日のご利用時間 9:00～16:00 本店営業部のみ)

また、貸金庫におけるより高度な安全性をご提供するため、成田西支店、新習志野支店、ユーカリが丘支店、蘇我支店、松ヶ丘支店、新浦安支店、千葉ニュータウン支店、松戸支店、馬込沢支店、うすい支店の10店舗において手の指の静脈を認識してご本人の確認を行う「指静脈認証システム」を導入しました。

県内金融機関では先駆的な取り組みであり、今後も対象店舗を順次拡大していく予定です。



入室前

入室チェック
専用カードにより、入室チェックを行います。



入室後

ご本人確認
指静脈認証または専用カードと暗証番号入力によりご本人確認を行います。

●ATMサービス

ベンリ1 休日や窓口の営業時間外でも「お預入れ」「通帳記入」はもちろん、「通帳の繰越発行」もできます。

※1月1日から3日は休業させていただきます。

ベンリ2 米ドル、ユーロ、豪ドル、英ポンド、カナダドル、全部で5通貨の外貨預金のお取引ができます。

事前に「外貨預金専用通帳」をお作りいただく必要があります。
■ご利用時間 月～金 AM9:00～PM4:00(祝日及び12月31日は除く)

ベンリ3 個人向け国債が購入できます。

事前に「債券・定期口座通帳」をお作りいただく必要があります。
■ご利用時間 月～金 AM9:00～PM4:00(祝日及び12月31日は除く)

ベンリ4 定期預金のお取引ができます。

スーパーカード(キャッシュカード)とスーパー総合口座通帳で、定期預金の「お預入れ」はもちろん、「ご解約」もできます。

ベンリ5 「キャッシュカードの暗証番号の変更」と「キャッシュカードご利用限度額の設定」ができます。

ベンリ6 通帳のみでも「お引出し」ができます。

当行のATMによる「お引出し」が、通帳のみでもご利用いただけます。(個人のお客様で、当該通帳のキャッシュカードをお持ちの方に限ります)ご利用に際しては、事前に窓口でのお手続きが必要となります。

ベンリ7 税金や公共料金などのお支払いができます。

Pay-easy(ペイジー)マークの付いた納付書であれば簡単に支払うことができます。(当行と提携している収納機関に限ります)



オトク1 ATM時間外手数料割引サービス

定期預金の残高に応じて、ATMを時間外にご利用の場合の手数料(1回当たり105円)が、無料または割引になります。

オトク2 定期預金金利上乘せサービス

ATMで1年以上のスーパー定期をお預け入れいただくと、店頭表示金利に0.01%を上乘せいたします。

(平成18年9月30日現在)

●相続関連業務の取扱店全店拡大について

平成18年1月より信託代理店業務として開始しました相続関連業務については、講演会の開催など、漸次、業務展開を図ってきました。

お客様からの反響やニーズの高まりを受け、平成18年度下期より、取扱店を全店に拡大しました。地域のお客様への多様なニーズにお応えできるよう一層のサービス充実を図っていきます。

◎相続関連3業務の内容

資産承継プランニング	財産等の現状分析を行い、お客様のご判断の一助としていただくため、より良い財産の承継計画を検討・提案するものです。
遺言信託 〔遺心伝心〕	遺言に関する事前のご相談をはじめ、公正証書遺言の作成サポート・保管および執行まで一括して行います。
遺産整理業務 〔わかち愛〕	相続が発生したお客様の遺産の調査、遺産分割協議書の作成、実際の分割手続きまで行います。

◎特別講演会「知っておきたい相続と遺言の知識」の開催数

日程	開催回数
平成18年11月	2回
平成18年12月	3回

地域のベストバンクを目指して

お客様の預金の安全性向上のための取組み（偽造・盗難カードへの対応等）

当行ではお客様にキャッシュカードを安全にご利用いただくために次のような対策を講じています。

1.1日当りのATM支払限度額の変更	平成18年1月4日より1日当りのATMにおけるご利用限度額を引下げました。 ・お引出し 200万円から100万円に引下げ （他行ATM利用の場合は50万円に引下げ） ・お振込み 500万円から100万円に引下げ （他行ATM利用の場合は50万円に引下げ）
2.カードご利用限度額設定サービス	1日当りのATMご利用限度額をお客様のご希望額に応じて1万円単位で設定できるサービスを実施しています。平成18年9月30日現在の変更可能額は以下の通りです。 ・お引出し／お振込み 0円～100万円 ・お振替え 0円～500万円
3.総合口座貸越限度額設定サービス	ATMご利用時の貸越限度額をお客様のご希望に応じて1万円単位で設定できるサービスを実施しています。 ・設定できる貸越限度額の範囲 0円～200万円
4.ATMにおける暗証番号変更	ATMで暗証番号の変更ができるサービスを実施しています。
5.類推され易い暗証番号利用者への注意メッセージ	生年月日、電話番号等の類推されやすい暗証番号を使用しているお客様が当行ATMをご利用になった際に、暗証番号変更をお勧めする注意メッセージを表示しています。 また、キャッシュカード発行や暗証番号変更を行う際に、類推され易い暗証番号を設定することはできないようにしています。
6.ATMコーナーへの後方確認用ミラー設置	全ATMブースに後方確認用のミラーを設置しています。
7.ATMへの覗き見防止フィルターの設置（一部機種を除きます。）	覗き見防止フィルターを設置し、ATM画面の覗き見を防止しています。
8.ATMコーナーへの覗き見防止パネル設置	ATMブース間に覗き見防止パネルの設置を進めています。
9.盗難・紛失に気がついた場合の届出受付時間の拡大	通帳、カード等の紛失・盗難の届出を24時間受付としています。
10.異常取引の検知	多額の出金を繰返し行うなどの異常取引について、翌営業日にお客様へ速やかにご連絡を行うサービスを実施しています。
11.盗撮による偽造カード対策	カードに刻印されている番号だけではカードの偽造ができないようにするため、カードに刻印されていない数字を照合することにより真正カードであることの判定をホストコンピュータで行う取扱いを実施しています。
12.ATMとホストコンピュータ間の暗証番号通信電文の暗号化	ATM取引時に入力した暗証番号をホストコンピュータに送信する際に、暗号化して送信する取扱いを実施しています。 なお、これまでに通信電文の傍受によるカード不正使用の被害は報告されていませんが、予防的な対策として実施しました。
13.ATMでの暗証番号入力時のテンキー配列変更	ATMでお引出し等を行う際に表示する暗証番号入力用テンキーの配列を取引の都度変更する機能を平成18年12月8日に追加しました。（一部機種を除きます。）



斜め後方から見たところ画面が見えなくなり、安心してご利用いただけます。



覗き見防止パネル